

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ 29

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見てください。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「但東の文化財」

但東地域は市域の東端に位置し、隣接する福知山市など、峠を越えた京都府との共通した特徴を持つ文化財が多くあります。

但東地域を巡る

室町末期に建立された日出神社本殿は、三間社流造で屋根は柿葺。昭和48年の解体修理の際に本殿床下の部材がすすけていたため、火を使った祭祀が行われていたのではないかと考えられています。おとし実施された福知山市畑中にある島田神社本殿(国重要文化財建造物)解体修理の際にも同様の痕跡が見つかり、本殿床下で行われる火の祭祀は全国的に見ても、きわめて少ないといわれています。

但東地域には、19棟の農村歌舞伎舞台が点在しています。市域にもいくつかありますが、これほどの数が残っている所は全国的に珍しいとのこと。域内ではそのほとんどが神社境内に併設されており、「舞堂」あるいは単に「堂」と呼ばれています。虫生にある安牟加神社の農村歌舞伎舞台は、役者の落書きによって文久元年(1861年)より前に造られたことが知られています。江戸時代後期から昭和30年代にかけて、村芝居が娯楽の中心だったことを教えてください。

また、「庚申塔」が多いことも但東地域の特徴の一つです。平成11年度の調査で石造庚申塔が77基、木造庚申塔が3基確認されており、兵庫県内で最多の地域です。このうち歴史的、文化財的に重要な6基が、豊岡市指定建造物に指定されています。庚申塔は正式には庚申供養塔といい、庚申信仰を信じる人々が、60日ごとの庚申の日に集まって夜を明かす庚申講を結成し、無病息災、悪疫退散などを祈るために造ったものです。宮津花崗岩に青面金剛像を刻んでいるものが多く、江戸時代後期から明治時代にかけて造られています。石造庚申塔は、隣接する福知山市で同じような形態のものが多数確認されており、両地域の密接な関係をうかがわせます。

※太字で記載している箇所は、これまでに紹介した文化財です。



▲日出神社境内の農村歌舞伎舞台(左が本殿)



▲唐川・岡神社の農村歌舞伎舞台での公演



▲佐田・地藏堂内の庚申塔

語句の解説

- ・柿葺…ヒノキ、サワラ、スギなどの木材の薄板で葺いた屋根。板葺
- ・庚申信仰…中国の習俗で庚申の日には人の心が冷酷になりやすいとされたため、一晩中供養をして災いから逃れようとする考え
- ・青面金剛…怒りの形相で、病魔を退散させる力があるとされる。庚申講の本尊

【表紙写真】11月13日、ラムサール条約湿地候補地エリアを歩く「ラムあるき3」を開催し、30人が参加しました。雲海を眼下に、円山川下流域エリアを一望しようと、朝5時に集合し、来日山中腹から懐中電灯を片手に林道を進行。山頂に到着した参加者は、壮大な雲海とはいかないまでも、ご来光を目の当たりにし、広大な景色に感嘆の声を上げていました。

●発行/豊岡市
☎07961231111
FAX231124
●編集/政策調整部秘書広報課

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)
・竹野 ☎4711111
・出石 ☎5231111
・但東 ☎54423211001
・城崎 ☎10001
・日高 ☎11011
・白旗 ☎10001